

(田原市)

市町村の基本情報	学校数	小学校 18 校、中学校 4 校、特別支援学校 0 校		
	地域学校協働活動推進員等の配置状況	統括的な地域学校協働活動推進員		0 人
		地域学校協働活動推進員		3 人 (※ 5 人)
		統括コーディネーター		0 人
		地域コーディネーター		0 人
	CS 及び地域学校協働本部設置状況	CS を導入している学校数	小 3 校	中 3 校
地域学校協働本部がカバーしている学校数		小 2 校	中 2 校	



※ 補助金を使っていない推進員も含んだ数

(活動の実際)

田原市では、令和 5 年度末現在、市内全 22 の小中学校（18 小学校・4 中学校）のうちの 6 校（3 小学校、3 中学校）に学校運営協議会を設置し、2 中学校に地域学校協働活動推進員を配置した。推進員は、学校支援活動の仲介役を担うとともに、学校運営協議会にも出席している。

< 地域学校協働活動推進員を配置している学校で行っている活動 >

○ ボランティアの募集・依頼・登録時の説明

- ・ 授業の補助（英語科の会話、家庭科の裁縫、地域の歴史や伝統文化の学習）
- ・ 登下校の見守り
- ・ 環境整備（草取り、樹木の選定・伐採）

○ 学校や地域の行事に関わる依頼・主催

- ・ 職場体験先の依頼・新規開拓
- ・ 職業や福祉を学ぶ会の講師依頼
- ・ 中学生によるボランティア活動の補助

○ 中学生や地域の人たちの熟議の場の設定・運営・広報

< 工夫していること >

- ・ 教員が地域学校協働活動推進員に相談や依頼をしやすい時間帯に、活動してもらっている。また、二人の推進員が交互に駐在し、毎週どちらかが対応できるようにしている。
- ・ ボランティアの希望があった際に、地域学校協働活動推進員が一人一人に丁寧に説明をしている。
- ・ 活動の様子をまとめたおたよりや学校ボランティアの募集用紙を発行し、全家庭に配布したり回覧板で地域に発信したりしている。

(◎成果と●課題)

◎ 地域学校協働活動推進員が配置されたことにより、スムーズに学校支援活動に取り組むことができた。

◎ 職場体験先や講師を探したり依頼したりしてくれたおかげで、教員の負担軽減につながった。

◎ 各学校における学校運営協議会でも、学校側からは困っていることや助けをお願いしたいこと、地域側からは子供たちのために地域の人ができることなどの意見が活発に出ており、地域住民と学校との連携強化が図られ、地域全体で子供を育てようとする意識が高まっている。

◎ 中学生によるボランティア活動については、生徒が自主的に活動したいことが増え、活動への意識が高まっている。

● 地域住民に地域学校協働活動が周知されていないため、ボランティア登録をしてくださる方がなかなか増えない。活動を継続するためにも、広報の充実や人材の発掘が必要である。

(関係者の声)

- ・ 地域の人たちをいかに巻き込むかを課題にしながらいりやりに取り組んでいる。先生方にはない地域が分かる強みを生かして、学校の役に立つことをしていきたい。(地域学校協働活動推進員)
- ・ 学校の子供や先生と多く関わることによってつながりができ、地域においても子供たちに声がかけやすくなった。(ボランティア)
- ・ キャリア教育や福祉教育を進めるにあたり、地域学校協働活動推進員に相談することで、地域の状況がより理解でき、具体的な取組につながった。(教員)